

中小企業景況調査報告書

2016年7月～9月(実績)

2016年10月～12月(見通し)

2016年9月1日現在

松阪北部商工会

1. 調査概要

(1) 調査対象 松阪北部商工会 40社(製造業、建設業、小売業、サービス業 各10社)

(2) 回答数 (製造業9社、建設業7社、小売業10社、サービス業9社)

























(3) 調査対象期間 2016年7月～9月(調査時点2016年9月1日)

(4) 調査方法 経営指導員等による面接調査

2. 業界動向

調査対象期間の業況

- 製造業では、3項目とも前期と比較して改善傾向にある。
- 建設業とサービス業では、3項目とも前期に比較して横ばいである。
- 小売業では、採算(現況)は改善傾向にある。

	業況(前期比較)		採算(現況)		資金繰り(前期比較)	
	4月～6月	7月～9月	4月～6月	7月～9月	4月～6月	7月～9月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

凡例:上記の各項目については以下のアイコンで表示しています。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I 昨年同期比	20.1～	5.1～20.0	5.0～ △5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
表示						
	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

3. 売上額

前年同期と比較しての「当期」の売上額については、サービス業は、増加の割合が高いが、小売業では70%が減少と回答している。また、製造業と建設業とは減少との回答が半数強ある。

前年同期比較のD・Iはサービス業を除き、マイナス40～70となっている。一方、前年同期と比較した来期の見通しでは、当期より悪化すると予想しているのは建設業だけである。

県内商工会地区との比較では、サービス業を除き、総じて増加割合が低く、特に小売業の減少が目立つ。一方、来期予想では、サービス業と小売業では悲観してないことが読み取れる。

	増加	不変	減少	D・I 値	
	当期	当期	当期	当期	来期予想
製造業	11 (24)	33 (24)	56 (52)	▲45 (▲27)	▲25 (▲25)
建設業	14 (13)	29 (35)	57 (52)	▲43 (▲39)	▲57 (▲46)
小売業	0 (14)	30 (38)	70 (48)	▲70 (▲33)	▲10 (▲29)
サービス業	22 (17)	45 (46)	33 (36)	▲11 (▲19)	▲11 (▲29)

()内は同期間の三重県内の10商工会サンプルの数値

4. 採算

前年同期と比較しての「当期」の採算については、製造業とサービス業は好転の割合が高いが、建設業と小売業では見られない。

前年同期比較のD・Iはサービス業も含めて、製造業を除きすべてマイナスになっている。一方、前年同期と比較した来期の見通しでは、当期より悪化すると予想しているのは建設業と小売業である。

他の業種は改善するとみており、特にサービス業ではプラスに転換している。

県内商工会地区との比較では、小売業を除き、「好転」の割合が総じて高く、来期予想では、サービス業の改善見込みが目立つ。

	好転	不変	悪化	D・I 値	
	当期	当期	当期	当期	来期予想
製造業	25 (9)	63 (42)	13 (49)	13 (▲39)	0 (▲28)
建設業	0 (0)	57 (65)	43 (35)	▲43 (▲35)	▲43 (▲30)
小売業	0 (2)	40 (55)	60 (43)	▲60 (▲40)	▲38 (▲33)
サービス業	11 (10)	56 (54)	33 (37)	▲22 (▲27)	11 (▲31)

()内は同期間の三重県内の10商工会のサンプルの数値

5. 資金繰り

前年同期と比較しての「当期」の資金繰りでは、すべての業種で「不変」と回答している割合が高い。前年同期比較のD・Iでは当期はすべてないナスであるが、来期はサービス業を除き横ばいかやや改善する見込みになっている。

県内商工会地区の全業種で3分の2が「不変」と回答しているが、当地区は業種別のバラツキが多い。来期予想では、すべての業種で県内商工会地区に比べて資金繰りは緩和傾向にある。

	好転	不変	悪化	D・I 値	
	当期	当期	当期	当期	来期予想
製造業	0 (3)	86 (64)	14 (33)	▲14 (▲30)	▲13 (▲32)
建設業	14 (0)	57 (68)	29 (31)	▲14 (▲34)	▲14 (▲35)
小売業	0 (5)	70 (61)	30 (34)	▲30 (▲29)	▲20 (▲24)
サービス業	11 (4)	44 (66)	44 (30)	▲33 (▲26)	0 (▲20)

()内は同期間の三重県内の10商工会の数値

6. 設備投資

7月から9月期の設備投資等では、製造業では、1社が車両運搬具とOA機器の導入があり、生産設備投資を実施し、2社がサービス施設と1社がOA機器導入を計画している。

建設業では、1社が車両運搬具、小売業では、付帯設備が2社、店舗、サービス施設とOA機器がそれぞれ1社ある。サービス業では、車両運搬具、OA機器。その他にそれぞれ1社が実施している。来期では、小売業の3社が店舗等への投資を予定、建設業では、建設機械への投資が1社、サービス業では土地、建物、車両運搬具を各1社が投資を予定している。

7月～9月期	土地	建物・店舗	サービス施設・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
製造業	0	0	0	1	0	1	0	0
建設業	0	0	0	1	0	0	0	0
小売業	0	1	1	0	2	1	0	0
サービス業	0	0	0	1	0	1	0	1

10月～12月計画	土地	建物・店舗	サービス施設・機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	0	0	1	0	0	0	0	0
小売業	0	3	1	1	0	0	0	0
サービス業	1	1	0	1	0	0	0	0

7. 経営上の問題点

	1 位	2 位	3 位
製造業	需要の停滞(2) 事業資金の借入難(1) 原材料価格の上昇(1) 製品ニーズの変化への対応(1) 生産設備の不足・老朽化(1) その他(1)	製品(加工)単価の低下・上昇難(3) 人件費の増加(1) 取引条件の悪化(1)	需要の停滞(2) 製品(加工)単価の低下・上昇難(1) 従業員の確保難(1)
建設業	請負単価の低下・上昇難(2) 大企業の進出による競争の悪化(1) 材料価格の上昇(1) 官公需要の停滞(1) 民間需要の停滞(1)	材料費・人件費以外の増加(1) 取引条件の悪化(1) 事業資金の借入難(1) その他・天候不順で工期遅れ(1)	大企業の進出による競争の悪化(1) 人件費の増加(1) 民間需要の停滞(1)
小売業	大型店・中型店の進出による競争の激化(1) 購買力の他地域への流出(2) 消費者ニーズの変化への対応(1) 商品在庫の過剰(1) 販売単価の低下・上昇難(2) 需要の停滞(1) 人件費の増加(1)	消費者ニーズの変化への対応(2) 店舗の狭隘・老朽化(2) 大型店・中型店の進出による競争の激化(1) 購買力の他地域への流出(1) 仕入単価の上昇(1) 需要の停滞(1) その他(1)	大型店・中型店の進出による競争の激化(2) 商品在庫の過剰(2) 金利負担の増加(1) 仕入単価の上昇(2) 需要の停滞(1)
サービス業	利用者ニーズの変化への対応(3) 従業員の確保難(2) 新規参入者の増加(1) 店舗の狭隘・老朽化(1) 従業員の確保難(1) 人件費の増加(1)	人件費の増加(2) 熟練技術者の確保難(2) 店舗の狭隘・老朽化(1) 人件費以外の経費の増加(1) 材料費等仕入単価の上昇(1) 需要の停滞(1)	利用者ニーズの変化への対応(1) 店舗の狭隘・老朽化(1) 人件費の増加(1) 材料費等仕入単価の上昇(1) 事業資金の借入難(1) 熟練技術者の確保難(2)